



オオルリソウ	<i>Cynoglossum furcatum</i> Wall. var. <i>villosulum</i> (Nakai) Riedl	絶滅危惧 I 類	
		ムラサキ科	
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が危機的水準まで減少している。	写真(岐阜県博物館) 標本 	
形態の特徴	茎の高さ50-100cmに達する越年草。全草に短い斜めの圧毛があり、葉は長楕円状披針形で両端が尖る。花期は7-8月。花序は長さ10-20cmと長く伸び、やや密に花をつける。花は径約4mmで淡青紫色。		
生態的特徴	山間の草地に生える。		
分布状況	本州～琉球、朝鮮、中国、台湾、東南アジア、インドに分布する。県内では県南の南西部に生育する。		
減少要因	本種の分布域は県南の1地域に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。		
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定することのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。		
特記事項			
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)		

文責:佐藤和良